

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻では、入学式が開かれた4月2日からインスタグラムの運用を開始しました。幅広い年代の人たちに“言語聴覚士”という職業や、国家資格取得のために日々勉学に励んでいる言語聴覚学専攻の学生たちの様子を知ってもらうきっかけづくりができればと思っています。



インスタ使い「言語聴覚学専攻」PR

運用については、週ごとに本専攻の教員が2～3名ずつで担当しています。名カメラマンやアイデアマンの先生方がいらっしゃるので大変頼もしい限りです。投稿内容は、講義・演習中の学生たちの様子や、学内の建物・風景の写真が主になります。学生と教職員との距離が近いことが本学の魅力のひとつであると感じておりますので、その魅力が少しでも伝わるよう#（ハッシュタグ）にも工夫をしています。学生から「昨日の投稿は思わず笑ってしまいました！」「僕の写真はまだ投稿してくれないんですか？」という声や、教職員から「あの写真はどうやって撮影したんですか？」という声を多数かけていただき、大変励みになっています。

今後は、様々な視点から“言語聴覚学専攻”と“言語聴覚士”について知ってもらえるような情報を発信していきたいと考えています。インスタグラムを通して、本学・本専攻の魅力がより多くの方の目に触れる機会をつくっていきたく思っておりますので、温かく見守っていただければ幸いです。

※右のQRコードからページに入ることができます。

学生の日常、学内風景……
週替わりで魅力発信



リハビリテーション学科言語聴覚学専攻
平江 満充帆臨時教員



国試合格、就職内定へ連携強化

学部4年生保護者会

4月から5月にかけて学部4年生を対象とした保護者会を開催しました。国家試験合格や就職先の内定を獲得するために、学生、保護者、大学教職員が連携し、今後の学生生活をより充実させるのが目的です。昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンデマンド形式の開催

となりました。

主な内容は、学長による大学概要や新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み、各学科・専攻による就職、国家試験、学外実習に関する説明などで、特別サイトを設けました。また、希望する保護者には、SG担任との個別面談を別途実施しました。

対面での実施は叶いませんでしたが、より多くの保護者に情報を提供できたのではないかと思います。今後、就職活動や国家試験対策が本格化していきます。感染対策を徹底しつつ、学生たちを支援していきたいと思っています。

(就職・実習支援課)

「リーダー学生」ただいま養成中

アカデミックスキル支援センター

全学必修の「アカデミックスキル」科目で授業支援等にあたるリーダー学生の養成講座が始まりました。同科目を支援する「アカデミックスキル支援センター」によるもので、本年度は1年次生14人が新たなリーダー学生として受講しています。

リーダー学生は、1年次前期から2年次前期にかけて開講される「アカデミックスキルⅠ～Ⅲ」でファシリテーターとして活躍します。養成講座での文献講読やディスカッション、プレゼンテーション、文章作成の経験を各クラスに持ち帰り、「共に学ぶ経験者」としてクラスメートの学修を支援する役割を担っています。

4月26日に始まった養成講座は、7月15日まで、毎週火、金曜日の午後6時から1時間半行われています。火曜日は文献講読会で徹底的に文献を読み込み、議論します。また、金曜日は授業内容を先行して学修。いずれも、支援センターの学生指導員が指導にあたっています。

メンバー14人は、いずれも自ら名乗りを上げてくれた学生たちです。先輩指導員の姿にあこがれて手を挙げたというリハビリテーション学科理学療法学専攻の池田安政さんは

「文献講読など今までしてこなかった勉強の形で面白いです」と話していました。また、看護学科の戸次陽菜乃さんは「(大学生になり)新しいことにチャレンジしたかった」と言いながら「ハードな研修日程は苦じゃない。人前で話すのは緊張するけど、すごく楽しいです」と続けていました。

なお、昨年度養成した2年次生のリーダー学生16人も、現在、アカデミックスキルⅢで活躍中です。

(アカデミックスキル支援センター)



先輩指導員の助言を受けながらディスカッションする1年生のリーダー学生

新任教員

私の研究 ④

本年度、本学に赴任した教員の皆さんの研究内容を紹介します。



田中 貴士
リハビリテーション学科
理学療法学専攻講師

リハビリテーション学科理学療法学専攻の田中貴士と申します。私は熊本機能病院に勤務後、大阪と金沢の地で動物を用いた基礎研究に取り組んでまいりました。主として、高齢期の脳損傷後における身体運動の効果を検証しています。これまでに、自発的な身体運動が脳の遺伝子を若返らせ、脳損傷後の機能回復を促すことを明らかにしてきました。本学の強みを生かし、様々な先生方との共同研究を進めることで、健康長寿社会の実現に貢献していく所存です。

身体運動が促す脳機能回復

枝尾 久美

リハビリテーション学科
理学療法学専攻講師



これまでスポーツ現場にいて、知りたいこと、調べたいことが沢山あるのですが、まずは、ヨガを機能的にみてみたいと思います。

以前、体幹筋の機能と姿勢について、超音波診断装置やX線等を用いて研究しました。姿勢保持には、体幹の深層筋の働きが重要で、この深層筋は呼吸の補助筋でもあります。現在人気のヨガは、呼吸を使って身体の複合運動をコントロールします。

ヨガが体幹機能と四肢へ与える影響を調べ、より効果的で安全なエクササイズとして提供できるか、研究してまいります。

ヨガの効果機能的に探る

天草の自然に育まれ

看護学科
吉田 理恵講師



長年、福岡に住んでいましたが、昨年、熊本保健科学大学に着任して、今は熊本市内に住んでいます。大学の周りには季節の草木や花があり、季節を感じられるため、幼少期のことを思い出します。

幼少期は、天草の自然の中で育ちました。小学校までの道のりは、近道となる車の来ない山道を通っていたので、帰り道は季節ごとの花や木の実を探しながら帰っていました。れんげの花が一面に咲く季節が好きで、びわや柿が実る季節も楽しみました。

父は釣りが好きでしたので、磯釣りによく連れて行ってもらいました。コロナ禍の前は、天草に帰った時には、親戚とよく磯釣りに行きましたが、たくさん魚が見えているのに全く釣れません（笑）。

今は、外出も難しい状況ですので、近所に住む姉が飼っている大きな猫が癒しです。自然に触れる機会を増やしてコロナ禍でも楽しめる趣味を持ちたいと思っています。

3カ月ぶり

「私の部屋でランチを」

対面で再開

4カ月ぶり

「サイエンスカフェ」

4月28日（木）の「第51回私の部屋でランチを」は、木下理事長による講演の最終回（全6回）でした。また、同日午後6時からは「第21回サイエンスカフェ」もあり、医学検査学科の青木教授が海外での経験も含めた研究報告を行い、ディスカッションもありました。

共にコロナ禍のため、「私の部屋でランチを」は3カ月ぶり、「サイエンスカフェ」は4カ月ぶりの開催で、久々に対面



図書館だより

ならではの参加者と演者との交流が見られました。ここでしか聞けない木下理事長の大変貴重な経験談や、先進的な研究に取り組む青木教授の報告は、深い学びと刺激かつ貴重な時間となりました。

木下理事長の講演オンデマンドDVD版や、講演の中で紹介された書籍は図書館で閲覧することができます。今後もそれぞれ月1回のペースで開催予定です。どうぞご参加ください。

インフォメーション

週間行事予定（5月21日～27日）

5 / 24（火）、27（金）	新任教員によるお披露目講演会及び昇任教授による講演会
5 / 25（水）	理事会・評議員会